

# 党 要 望 に 対 す る 回 答 書

回答部局課名（学校教育部 指導課）

政 党 名	自民党川口市議会議員団
表 題	教育対策
要 望 番 号	6. 発達障害や不登校に悩む児童・生徒への取り組み
要 望 内 容	発達障害や行動上の課題を抱えている児童生徒のための通級指導教室を市内に拡充すること。また、不登校の児童生徒へのサポートとして適応指導教室の拡充や学校サポートを充実させること。
回 答	<p>通級指導教室の拡充につきましては、本年度難聴・言語障害通級指導教室を1教室増設し、発達障害・情緒障害通級指導教室を小学校に1教室、あわせて2教室増設いたしました。このことにより、市内の難聴・言語障害通級指導教室は11教室、発達障害・情緒障害通級指導教室は小学校8教室、中学校2教室となります。また、来年度、難聴・言語障害通級指導教室は新たに2校設置予定です。</p> <p>通級指導教室の担当者が基礎定数化されたことにより、対象となる児童生徒増加に伴い、今後も通級指導教室の増設は見込まれます。通級指導教室担当者は、より専門性を有しますことから、その育成も含め発達に課題のある子どもたちに適切な支援が行われるよう努めてまいります。</p> <p>不登校児童生徒へのサポートにおきましては、教育研究所の適応指導教室</p>

において、学習・スポーツをはじめ、調理実習や園芸活動といった仲間とかわりあう活動を充実させ適応能力を養い、自信や自立心をもたせ学校復帰および社会的自立ができるよう支援しております。

また、スクールソーシャルワーカーや訪問相談員による家庭訪問をはじめ、相談員やカウンセラーによるカウンセリング等、学校への様々なサポート体制を構築しております。更に、未然防止として、中1ギャップ解消に向けた、小・中連携の取組や、毎月実施の不登校調査による予備軍の早期発見、学校訪問による課題の共有、対応に向けた連携強化など、不登校を出さない取組にも力を注いでおります。今後も、発達障害や不登校児童生徒への支援の更なる充実を図って参ります。